

2021年11月18日

酵素工学会
会 員 各 位

酵素工学会
会長 小川 順

2022年度酵素工学奨励賞の受賞候補者推薦のお願い

本会では、若手研究者を対象にした酵素工学奨励賞を創設し、本年度も11月12日に開催された酵素工学会第86回講演会（WEB開催）において、受賞者には表彰盾および副賞を送付いたしました。

2022年度も、下記の授賞規定にしたがって受賞候補者を募集いたします。自薦他薦は問いません。団体会員の社員の方の場合には、個人会員になっておられない方も選考の対象にいたします。別紙推薦書にご記入のうえ、候補者の酵素工学分野における研究業績リスト（論文、総説、解説、学会発表、団体会員の社員の方の場合には工業化研究開発における業績など）、受賞歴（他学会等での受賞歴（研究題目を含む））ならびに酵素工学会での活動実績（講演会での講演、酵素工学ニュース執筆など）が有ればこれを付記した資料を添付し、2022年3月31日までに事務局へご送付くださいますようお願い申し上げます。団体会員からのご推薦を期待しております。

酵 素 工 学 奨 励 賞

本賞は、酵素工学会の創立およびその後の発展に中心的役割を果たしてこられた東京工業大学名誉教授 鈴木周一先生のご提案と基金提供により設立され、さらに京都大学名誉教授 田中渥夫先生からも資金提供がなされたものである。また、Enzyme Engineering XXII 開催記念基金からの資金拡充も行われている。

授賞規定

- 1) 酵素工学の分野の進歩に寄与した、原則として40才以下の若手の本会個人会員に授与する。
- 2) 受賞者は、原則として年間2名とする。
- 3) 会長、副会長ならびに会長が指名する者からなる審査委員会は、本研究会の会員から推薦された候補者を対象に受賞者を選考し、決定する。ただし、候補者が審査委員の利害関係者の場合は、当該審査委員は当該候補者の審査から外れる。